

ヒューマンエラー対策

お疲れ様です。

ヒューマンエラーを知っておるか？誰でも、アナタも起こしかねないヒューマンエラー。これによってケガをしてしまうこともある。今回はヒューマンエラーの話ぢゃ!

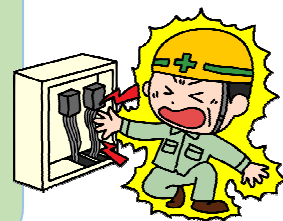


◆ヒューマンエラーとは

ヒューマンエラーをわかりやすく説明すると「人の意図しない結果」。つまり、「自分は正しいと思って起こした行動が間違っていた」「無意識に誤った行動を行った」など、勘違い、省略、錯覚などによる行動から起こる結果のことです。

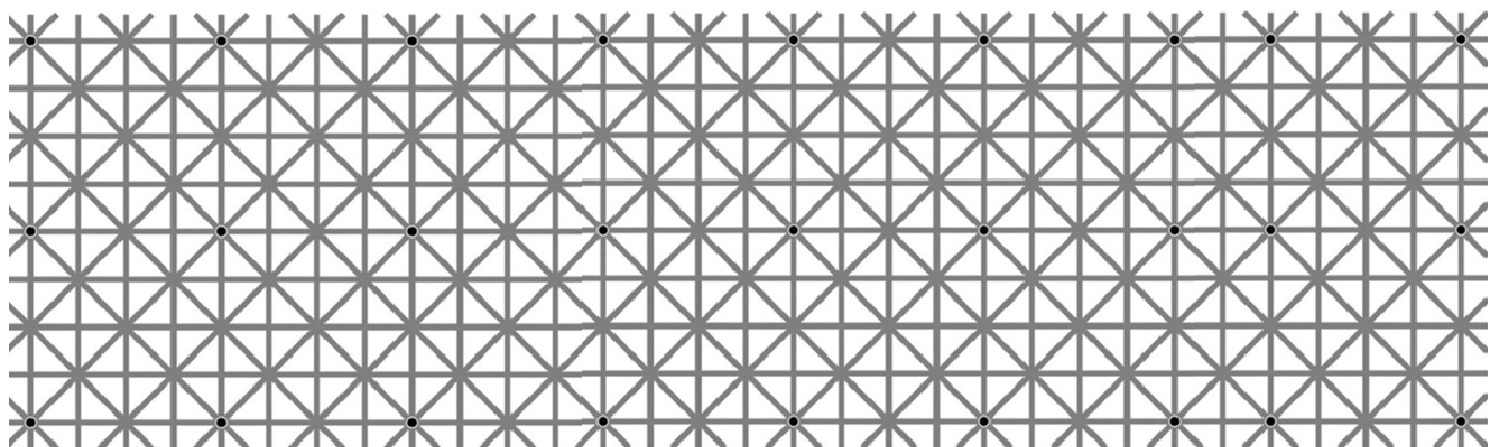
◆ヒューマンエラーがもとで発生する労働災害

人は誰でも錯覚を起こすことがあります。見間違いや勘違いもそうです。しかしそれがもとで大けがをしてしまうことさえあります。電源を落としたつもりで作業したら落ちていなくて感電したり、1か所に意識が集中したことで周りが見えなくなって機械に巻き込まれた事例も多くあります。ヒューマンエラーは無意識にやってしまう非常に怖い「人の意図しない結果」なのです。



◆ヒューマンエラー体験：見えるものが見えなかったり、見えないものが見えたりする!?

下の図の黒丸●はいくつあるでしょうか？数えてみましょう。いくつありましたか？答えは27個です。数えている途中で何かおかしくありませんでしたか？見えていたはずの黒丸が見えなくなってしまう現象に陥ります。



裏面に続く

★今月の安全衛生川柳～不注意は意識して減らすことができます。ご安全に!

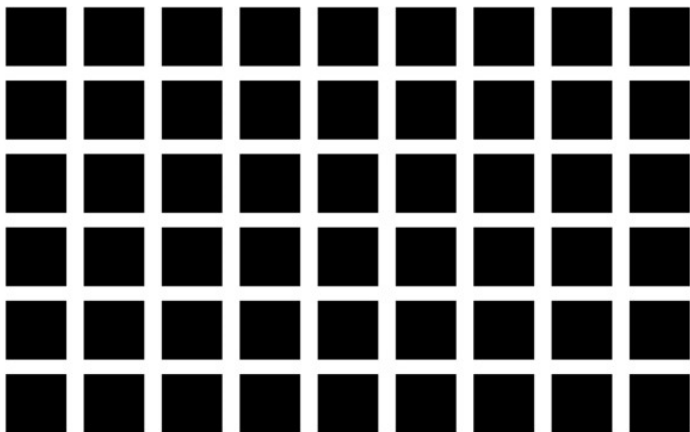
不注意を 無くして仕事 スマートに

北大阪支店 スタッフさんの作品

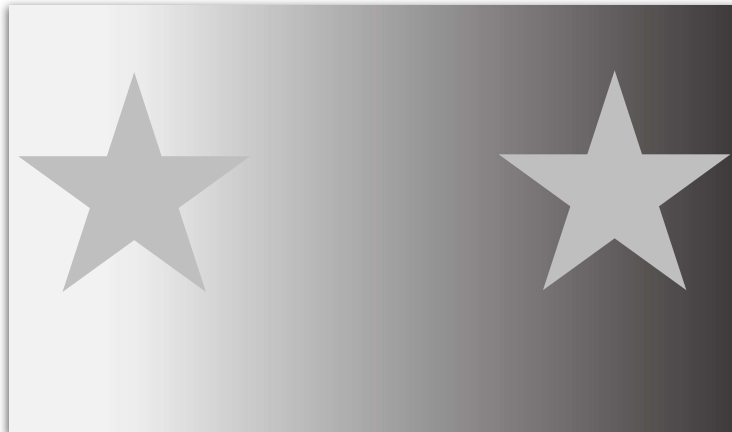
※安全衛生川柳を募集しています。詳しくはトココランドをご覧ください。



↓これは見えないはずのものが見えてしまう錯覚図です。■の間に灰色の点が見えませんか？



↓二つの★マークは左右のどちらが色が明るいですか？実は全く同じ色なのです。



◆ヒューマンエラーと安全

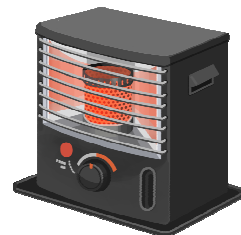
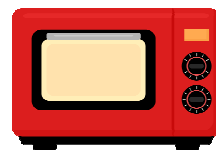
機械安全では、対策としてヒューマンエラーが発生してもケガをしない仕組みを取り入れています。扉を開けると停止する電子レンジや転倒すると消えるストーブなどがそうです。

では、100%無くすことは不可能とされてるヒューマンエラーに対する我々自身の対策はあるのでしょうか？

ヒューマンエラーは、完全に無くすことは不可能ですが、それがどのような状況やタイミングで発生しやすいかを知り、対策を打つことで減らすことができます。

例えば、忘れ物をしないように、カバンのどのポケットに何を入れるかを確認しやすいように決めていることは対策の一つとなります。

職場で出来るヒューマンエラー対策を紹介しますので実践してみましょう。



ヒューマンエラー対策

●周りの人とのコミュニケーション

職場で周りの人とのコミュニケーションは非常に効果があるとされています。少しでも不安なことがあれば、すぐに周りの人に聞くことができますし、誤った行動をしていた時でも指摘してもらえるとという効果があります。コミュニケーションはとても大切なのです。

●睡眠時間をしっかりとる

睡眠時間が少ないと集中力が低下しミスが起こりやすくなります。十分に睡眠をとり規則正しい生活がアナタをケガや事故から守ります。

●仕事で疲れた時は特に慎重に

睡眠時間が少ない場合と同様に、疲れた時は集中力は低下します。しかし、残業などでそのような状況でも仕事を続けなければならないことだってありますよね。そのような時はできるだけ無理をせず、慎重に行動するよう心掛けましょう。

ヒューマンエラーはいつ発生するかわかりません。しかし、うっかりケガをしたなんてとても残念なことです。おつちよこちよいでは済まないこともあります。しっかりと実践し、ケガから身を守りましょう！

